

山下 一史(指揮·音楽監督) Kazufumi Yamashita

1977年桐朋学園高校音楽科に入学、チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、森正の各氏に師事。1984年桐朋学園大学を卒業 後、ベルリン芸術大学に留学。1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年から1989年までカラヤンのアシスタントを務め、急病のカラヤン の代役として急遽ジーンズ姿のまま「第九」を指揮し、話題となった。その後、スウェーデンのヘルシンボリ交響楽団首席客演指揮者を務めた。日本国内では 1988年にNHK交響楽団で指揮デビュー、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者、大阪音大ザ・カレッ ジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者、仙台フィル正指揮者を歴任。東京藝術大学音楽学部指揮科教授として後進の育成にも尽力している。現在、千葉 交響楽団音楽監督、愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者。



大井 剛史(指揮) Takeshi Ooi

2024年4月、東京佼成ウインドオーケストラ常任指揮者に就任。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。東京藝術大学指揮科を卒業後、同大学院指揮専攻 修了。若杉弘、岩城宏之の各氏に指導を受ける。1996年安宅賞受賞。スイス、イタリア各地の夏期講習会においてレヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラブ チェフスキーの各氏に指導を受ける。2007~2009年チェコ・フィルハーモニー管弦楽団で研修。2008年アントニオ・ペドロッティ国際指揮者コンクールで第2 位入賞。在学中より東京二期会、新国立劇場などのオペラ公演で副指揮者をつとめ、2002年「ペレアスとメリザンド」(ドビュッシー)を指揮してデビュー。そ の後はオペラのほかバレエ、ミュージカル、日本舞踊との共演など多くの舞台公演を指揮。仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者(2000~2001)、ニュー フィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者(2009~2016)、山形交響楽団指揮者(2009~2013)、同正指揮者(2013~2017)、東 京佼成ウインドオーケストラ正指揮者(2014~2024)を歴任。このほか全国の主要オーケストラを指揮している。レパートリーは極めて広く、オーソドックスな管

弦楽/吹奏楽の作品を中心として、現代音楽の初演、ゲーム音楽、映画音楽、ポップスなどありとあらゆる音楽を手がける。トーク付きのコンサート、また子供のためのコンサートなどを通じ て、より多くの方々に音楽に親しんでいただくことに情熱を注いでいる。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)、尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

髙木 竜馬(ピアノ) Ryoma Takagi



第16回エドヴァルド・グリーグ国際ピアノコンクールにて優勝及び聴衆 賞を受賞し一躍世界的に脚光を浴びる。その他にも第26回ローマ 国際ピアノコンクールなど7つの国際コンクールで優勝。オスロフィ ル、ベルゲンフィル、ウクライナ国立フィル、ウィーン室内管、NHK交響 楽団、東京フィル、東京交響楽団、日本フィル、新日本フィル、大阪フィ ル、大阪交響楽団、関西フィル、日本センチュリー交響楽団、京都交 響楽団、群馬交響楽団、神奈川フィル、富士山静岡交響楽団、ARK シンフォニエッタ等のオーケストラと、ハンス・グラーフ、エドワード・ガー

ドナー、ゲルゲイ・マダラシュ、アンドレア・バッティストーニ、小林研一郎、秋山和慶、尾高忠 明、高関健、佐渡裕、藤岡幸夫、沼尻竜典、下野竜也、鈴木優人、杉本優、三浦文彰等の 指揮で共演。ウィーン楽友協会やシェーンブルン宮殿等の世界各地の著名なホールで演 奏するなど広範な演奏活動を続けている。NHK総合『ピアノの森』では雨宮修平メインピ アニスト役で出演した他、映画『アナログ』やテレビ朝日『題名のない音楽会』、NHKEテレ 『青のオーケストラ』などメディアや音楽祭への出演多数。2024年4月にはイープラスミュー ジックよりデビューアルバムとなる『Metamorphose』をリリースし好評を博す。京都市立芸 術大学専任講師に就任し後進の指導にも当たっている。

西村 悟(テノール) Satoshi Nishimura



日本大学芸術学部音楽学科卒業、東京芸術大学大学院修了。イタ リア声楽コンコルソ・ミラノで大賞、リッカルド・ザンドナーイ国際声楽コ ンクール第2位及び審査委員長特別賞、日本音楽コンクール第1位 及び聴衆賞。2013年大野和士指揮水戸室内管弦楽団とブリテン 「ノクターン」、2014年山田和樹指揮スイス・ロマンド管弦楽団とメン デルスゾーン「讃歌」を共演の他、佐渡裕指揮ケルン放送交響楽団 「第九」、インキネン指揮日本フィルハーモニー交響楽団「大地の 歌」、小林研一郎指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団とはヴェル

ディ「レイクエム」、高関健&東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団「ファウストの劫罰」等 で共演。2016年には大野和士指揮バルセロナ交響楽団とメンデルズソーン「讃歌」を共 演してヨーロッパ・デビューを果たし、現地有力紙「La Vanguardia」に高評された。オペ ラでは「ラ・トラヴィアータ」「蝶々夫人」「仮面舞踏会」「魔笛」「夜叉ヶ池」等に出演し、 2017年、びわ湖ホールプロデュースオペラ沼尻竜典指揮「ラインの黄金」のローゲ役で絶 替され、2019年1月、藤原歌劇団公演「ラ・トラヴィアータ」にてアルフレードを好演。五島記 念文化賞オペラ新人賞受賞。出光音楽賞受賞。藤原歌劇団団員。

○チケット発売

各種会員予約 10月6日(月)10:00~ 一般発売 11月5日(水)10:00~ ○入場料金[税込·全席指定]

S席 = 5,000円 A席 = 4,000円 B席 = 3,000円

*大学生以下・65歳以上は全券種とも500円引き *未就学児の方のご入場はご遠慮ください

右記①楽団一般販売購入サイト、または②カンフェティから インターネットで申し込みすると…

座席選択できる! カード決済できる! セブンイレブンでチケット発券

お申込後、セブンイレブンでお支払・チケットをお受け取りください。

- ●予約完了時に表示される払込票番号をお控えいただくか。 [払込票表示・印刷] ボタンを押して払込票を印刷してください。
- ●払込票番号/払込票をセブン-イレブン店舗レジまでお持ちください。

神谷 未穂(ヴァイオリン) Miho Kamiya



桐朋学園大学、ハノーファー音楽大学をともに首席卒業。さらにパリ 国立高等音楽院最高課程を修了。北九州国際音楽祭TOTOクフ モプライズ室内楽(デュオ)第1位、ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリ ンコンクールにてパガニーニ賞、オーストリア室内楽音楽祭賞を受 賞。(ヘルシンキフィル、プラハ室内管、仙台フィル、新日本フィル、東 京フィル、東響等、)国内外のオーケストラに度々ソリストとして招かれ 共演を重ねている。またNHK-TV、テレビ朝日「題名のない音楽 会」に出演するなど、ソリスト、室内楽奏者として活発な演奏活動を

行っている。(一財)地域創造の公共ホール音楽活性化事業協力アーティストとして、地 域に密着した音楽活動を展開し高く評価されている。望月優芽子とのデュオアルバム「フ ランスのブーケ」、従姉の礒絵里子とのヴァイオリン・デュオ"デュオ・プリマ"として3枚、エマ ニュエル・ジラール主宰の"アンサンブル・マレッラ"として「シューベルト幻想」、「マラン・マ レー異国組曲」などのCDをリリース。NHK・TV仙台放送局の番組に度々出演。2021年 10月、千葉交響楽団と共演したメンデルスゾーンの協奏曲は高く評価された。全日本学生 音楽コンクール審査員。平成23年度宮城県芸術選奨受賞。現在、仙台フィルハーモニー 管弦楽団、横浜シンフォニエッタコンサートマスター、千葉交響楽団特任コンサートマス ター、宮城学院女子大学特命教授。

須川 展也(サクソフォーン) Nobuya Sugawa



日本が世界に誇るクラシカル・サクソフォン奏者。長きにわたり、現代を 代表する作曲家への委嘱を継続し、クラシカル・サクソフォンのレパー トリーを開拓し続けている。国内外の著名オーケストラと多数共演。 およそ40カ国での公演やマスタークラスを行う。東京藝術大学卒 業。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクール最高 位受賞。2002年NHK連続テレビ小説「さくら」テーマ曲演奏。最新 CDは自身初の無伴奏作品となる「バッハ・シークェンス」(R2文化庁 芸術祭優秀賞)。東京佼成ウインドオーケストラ・コンサートマスター

(1989-2010年)、ヤマハ吹奏楽団常任指揮者(2007-2020年)を歴任。トルヴェール・クヮル テットのメンバー、東京藝術大学招聘教授、京都市立芸術大学客員教授。

○一般発売お申し込み(下記プレイガイドから)

①千葉交響楽団ー般販売購入サイト





可能ですが座席指定不可、カード決済不可です。

③千葉県文化会館 https://www.cbs.or.jp/chiba/ 回数深回

043-222-0201 (月曜休館9:00~17:00) 座席選択可。入金確認後、会館からチケット郵送。 窓口購入の場合手数料無し。

(千葉交響楽団各種会員 043-222-4231 https://chibakyo.jp/)